

がんを予防したい！

がんの種類は様々ですが、生活習慣の改善と感染症対策で予防できるがんが多いんです。



5つの健康習慣を実践することで
がんになるリスクが低くなります



※国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究グループ
科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究
http://epl.ncc.go.jp/can_prev/

感染症対策

肝 炎ウイルス感染 検
査と適切な措置。
機会があればピロリ菌
の検査。

**それでもかかったら？ 仕事は？ 治療は？**

- ① 現在でも60%以上の方は、治癒する
➡がんになっても働ける！
- ② がんは個性が高い
➡がんの種類や病期によって予後、治療法、後遺症も全く異なる
➡両立支援の方法も、人によって異なる

※両立支援とは…治療と仕事の両立を支援する活動

正しいがんの知識を共有することによって
がんと診断された労働者の支援が可能になる

事業場における治療と仕事の
両立支援のためのガイドライン

「両立支援のためのガイドライン」で検索

自身が、働きながら治療を受けようと思うことが大切

産業医、主治医へ相談をしよう！

会社が支援する体制を作ることが大切

人材が失われず、従業員が働きやすい環境を整備することで、
従業員に安心して意欲高く活躍してもらうことが期待できます！



男女の年代別がん罹患数(2018年)



がんは現在、労働者年齢層では約15%
の人が罹患する可能性がある身近な病
気になっています。特に、女性のがんは
若い年代に罹患しやすく注意が必要で
す。

日本は先進国の中で唯一
がんが増えている！

**がんになる人**

年間約
100
万人

男性：約55.6万人
1位：前立腺がん2位：大腸がん3位：胃がん
女性：約43.2万人
1位：乳がん2位：大腸がん3位：肺がん
出典：厚生労働省「平成31年（令和元年）
全国がん登録 集計報告」

がんによる死亡者

年間約
38
万人

男性：約22.1万人
女性：約15.7万人
出典：厚生労働省「令和元年人口動態統計」

**生涯
がん罹患(ひそか)リスク**

男性
65%
女性
50%

日本人の2人に1人が
がんになる
出典：国立がん研究センターがん情報サービス
(2018年罹患データに基づく)

**継続的にがん治療を
受ける人**

約
178
万人

男性：約97.0万人
女性：約81.2万人
出典：厚生労働省「平成29年（2017）患者調査の概況」
(平成29年10月調査日現在)

がんによる死亡率の低下が認められた検診(対策型検診 5 種類)

がん検診の種類	検診方法	対象年齢	検診間隔
胃がん検診	問診、胃X線検査 または胃内視鏡検査	50歳以上 ※胃部X線検査は 40歳以上に対し 実施可	2年に1回 ※胃部X線検査は 毎年実施可
大腸がん検診	問診、便潜血検査		毎年
肺がん検診	質問（問診）、胸部X線検査、 喀痰細胞診（対象該当者）	40歳以上	毎年
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査（マ ンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない		2年に1回
子宮頸がん検診	問診、視診、細胞診、内診 必要に応じてコルポスコプ検査	20歳以上	

早期発見
・早期治療！

